

橋梁点検の結果

1 点検結果の概要

今年度は、24橋の橋梁を点検した。しゅん功年度別の橋梁数を下記に記す。

- 昭和30年代 1橋
- 昭和40年代 3橋
- 昭和50年代 12橋
- 昭和60年代 5橋
- 平成以降 3橋

昭和60年代及び平成以降にしゅん功した橋梁は健全である。それ以外は、経過年数の差はあまりなく、**一様に劣化が見られる**。定期更新すべき部材と予防保全すべき部材に関して考察を述べる。

- 定期更新 : 防護柵、伸縮装置、排水管、支承
予防保全 : 路面、床版、主桁、下部工、基礎工、護岸工

【定期更新】

定期更新の部材は、今年度の対象の中では約4割程度が補修が必要な結果となった。結果の内容から判断すると、**防護柵や排水管の腐食が目立ち**、健全度の低下に繋がっている。ただし、緊急を要する損傷はない。城跡橋の橋台部支承に**モルタルの剥離及び支承下面の隙間**が見られるため、健全度1となる。本支承については、早期に取替えの検討を行うのが望ましい。

また、通常維持管理においては、防護柵の車両の衝突による変形や支承部周辺の土砂詰りが一部見られたため、判定が「×」となった。

【予防保全】

予防保全の部材は、健全度3については、そのほとんどが鋼桁の塗装劣化である。前回の塗装から約25～30年程度経過している橋梁が多い。また、**戸田橋の橋台が傾いている**ため健全度2とした。傾斜の原因は、現地状況より、沈下または滑動によるものや施工不良によるものと推定される。現在、鋼主桁と橋台が接触している状態であるが、桁等にひずみによる変形や亀裂、座屈等は生じていない。しゅん功から現在まで問題ないことと、橋台の傾斜が急に進展する可能性はないと推定できるため、**大型車の制限を行い、経過観察し出来る限り早い時期の対策が望まれる**。

また、通常維持管理においては、路面に関して多くの橋梁に「×」判定がある。これは、排水桝の土砂詰りや伸縮部の橋台背面箇所での段差が主な理由である。

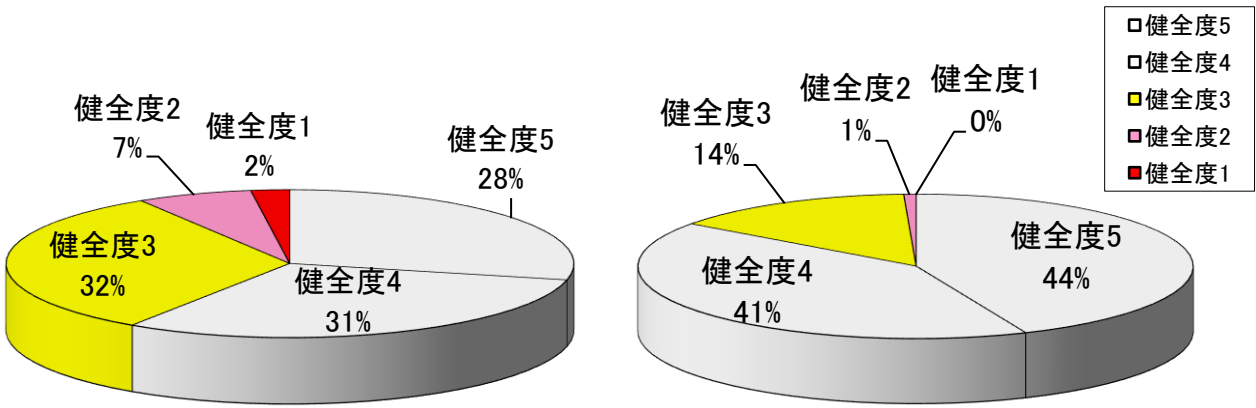


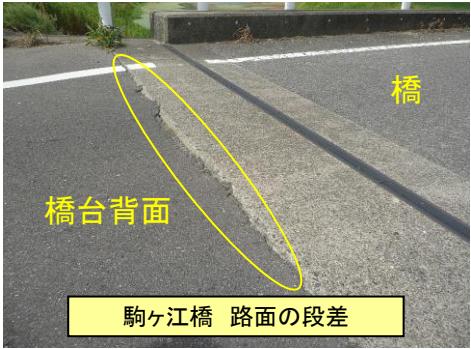
図2-1 定期更新の健全度内訳

図2-2 予防保全の健全度内訳

【定期更新の損傷】



【予防保全の損傷】



判 定 基 準

通常維持管理		修繕計画(定期更新)		修繕計画(予防保全)	
×	維持修繕が必要	健全度	状態の説明	健全度	状態の説明
○	問題ない	1	全面取替え:劣化損傷(大)	1	機能停止の恐れ
対象外	点検項目に該当しない	2	部分取り替え:劣化損傷(中)	2	直ちに補修実施:劣化損傷(大)
		3	補修:劣化損傷(小)	3	補修開始:劣化損傷(中)
		4	経過観察:ほぼ健全	4	経過観察:ほぼ健全
		5	健全	5	健全

2 結果一覧表【1／2】

橋梁ID	橋梁名	橋長(m)	竣工年月	点 検 結 果										緊急対策 の有無	補修の有 無	大型車の 規制	備 考
				上段:通常維持管理 下段:修繕計画(最低値)													
				路面	防護柵	伸縮 装置	排水管	床版	主桁	下部工	支承	基礎工	護岸工				
10003	石亀橋	55.1	昭和60年12月	×	○	○	○				○		○	無	有	必要なし	
				4	5	3	5	4	5	4	4	5	4				
10004	二軒屋橋	35.6	昭和58年08月	×	○	○	×				○		○	無	有	必要なし	・防護柵の腐食により健全度2がある ・排水管の腐食により健全度2がある ・橋台の沈下または傾斜が推定される→経過観察が必要
				4	2	3	2	4	3	5	3	5	4				
10005	駒ヶ江橋	25.3	昭和63年-月	×	×	○	○				○		○	無	無	必要なし	
				5	5	4	5	4	4	5	5	5	4				
10011	瀬古橋	20.0	昭和60年03月	×	×	○	○				○		○	無	無	必要なし	
				4	4	4	5	5	5	5	5	5	4				
10016	森下橋	29.6	昭和56年8月	×	×	○	○				○		○	無	有	必要なし	
				4	3	4	3	4	3	5	3	5	4				
10017	外浜橋	17.2	昭和55年-月	×	×	○	○				×			無	有	必要なし	・防護柵の変形は車両の衝突によるもので、変形が大きい。
				5	4	3	5	5	5	5	5	5	4				
10022	城跡橋	41.0	昭和56年12月	×	○	○	○				×		○	無	有	必要なし	支承モルタルの損傷により健全度1がある
				3	4	4	4	4	3	4	1	5	4				
10025	新深浜橋	111.8	昭和63年7月	×	×	○	○				○		○	無	有	必要なし	・床版の漏水があり、鉄筋のさび汁も確認できる
				4	4	4	5	4	5	4	3	5	3				
10026	深浜橋	28.0	平成04年09月	×	×	○	○				○		○	無	無	必要なし	
				5	4	4	5	4	3	5	5	5	4				
10027	横江橋	21.9	昭和54年-月	○	○	○	○				○		○	無	有	必要なし	・主桁とパラペットの干渉(接触程度)がある
				5	4	4	5	4	3	5	3	5	4				
10032	草場橋	25.4	昭和59年10月	×	○	○	○				○		×	無	有	必要なし	
				5	3	4	4	4	5	5	5	5	4				
10041	福江川橋	23.3	昭和58年11月	×	○	○	○				○		×	無	有	必要なし	・橋台背面に舗装の陥没がある(第三者被害の可能性あり)
				5	3	4	3	5	3	5	3	5	4				
20006	中折橋	26.6	昭和58年03月	×	×	×	○				×		○	無	有	必要なし	
				5	4	4	4	5	3	5	3	5	4				

2 結果一覽表【2／2】

[illegible]